

事後評価シート

コード 11-1-1	事務事業名 表彰事務	所管部課 学校教育部教育庶務課
---------------	---------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 西東京市の教育、学術、技術、芸術、体育その他文化の振興に寄与し、その功績が顕著な個人及び団体を表彰した結果、西東京の教育行政の貢献に対する敬意を表するとともに、より一層の教育行政に対する市民意識の向上を図る。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 ・年2回実施(スポーツ関係は西東京市総合体育大会開会式典時(夏)に実施し、教育・文化関係は秋に実施) ・表彰対象者は、各団体からの推薦書により表彰審査会で審査され、教育委員会において決定。	根拠法令等 西東京市教育委員会表彰規則 西東京市教育委員会表彰基準
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 表彰回数
	成果指標名 1次 表彰者数	成果指標の考え方(定義) 1次 表彰された人の数
	1次	1次
	2次 表彰者がさらに教育行政へ寄与した数値	2次 表彰された人が再び表彰された数

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	216	205	254	376
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		216	205	254	376
	所要人員(B)	人	0.13	0.13	0.13	0.13
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,075	1,083	1,064	1,064
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	1,291	1,288	1,318	1,440
	単位当たりコスト (E)=(D)/ ( 表彰者数 )	千円	43	43	44	48
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			2	2
	実績値	回	2	2	2	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	人			24	35
	実績値	人	27	16	24	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値	人				
	実績値	人	0	0	0	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	未調査
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	近隣市に比べると比較的内容が充実している。
	運営上の制約条件・外部要因等	推薦書による選考のため、推薦母体がない市民については、被表彰者として把握しにくい実態がある。

コード 11-1-1	事務事業名 表彰事務	所管部課 学校教育部教育庶務課
---------------	---------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 1 上位施策の目的と一致していない・上位施策がない。	▼	1
	目標の妥当性 1 目標に関する検討を何も行っていない	▼	1
	緊急性 3 どちらかと言えば、実施した方がよい	▼	3
2 市が関与する必要性	法的義務性 2 法律・条例での規定はないが、通達や要綱・要領で実施が規定されている	▼	2
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	2
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	4
3 内容の適切さ	ニーズ 3 市民(市内)ニーズが明確に把握できており、ニーズに見合ったサービスである	▼	3
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼	1
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	▼	2
4 実施手段の適切さ	有効性 1 質・水準の改善にはあまり取り組んでいない	▼	1
	効率性 3 既に他の実施主体を一部活用し、コスト低減に取り組んでいる	▼	3
	独自性 3 国や都に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある	▼	3
合計			26

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	推薦母体がない市民について把握する方法を見直す必要がある。

18年度における改善点	各学校が発行している、「がっこうたより」他、口コミ情報など、広く小さな情報を掘り起こす必要がある。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	児童・生徒に対する表彰は、本人や周囲の児童・生徒等のモチベーションを高める効果があり、信賞必罰の意味からも更に充実させる方向がいいと考えるが、職員等の該当項目である在職年数によるものは、職務の一環として行われているものであり、給与・報酬等との関係から見直しが必要と考える。また、スポーツ関係に比べて、教育・文化関係の基準がやや弱い印象であり、検討の余地がある。表彰効果を高めるために、市民へのインフォメーションや被表彰者(団体)の発表の場等の設定も必要ではないだろうか。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	表彰は、将来を担う子どもたちにとってはモチベーションの向上につながり、また大人にとっては自分の業績や貢献が客観的に評価された結果に対して与えられるもので、本事業の必要性は理解できる。しかしながら二次評価にもあるとおり、対象や選考基準については見直しが必要であると考え。
--------	---	--